

4回
シリーズ

CASE-MaaSセミナー

参加費無料

— 未来のモビリティ産業・社会を考える —

第2回 CASE-MaaSで広がる新たなビジネスモデルとその可能性



Connectivity つながる
Autonomous 自動運転
Shared & Service 利活用
Electric 電動化

とき

10/ 令和2年
27^火
14:00~16:30

オンライン開催

※申込方法等は裏面を
ご参照ください。

プログラム / 講師

- ▼「スマートモビリティチャレンジ事業」について
中部経済産業局
- ▼交通不便地域におけるモビリティサービスと自動運転の導入
—名古屋大学 COI の取組から—
森川 高行 氏 / 名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ社会研究所 教授
- ▼MONET Technologies の取り組み事例と展望
小澤 拓郎 氏 / MONET Technologies 株式会社 事業推進部 担当部長
- ▼モビリティサービス分野における特許取得のポイント
吉田 誠 氏 / 特許庁 審査第四部 インターフェイス(検索・記憶管理) 審査官

セミナー概要

自動車を取り巻く環境は「CASE」や「MaaS」※の潮流により、技術の進化や市場の質的变化が進み、「100年に一度の変革期」と言われている中、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大によって、多方面で様々な変化が起っています。ポストコロナを含め新たな時代の到来に伴い、自動車産業のサプライヤー企業においては、自動車メーカーのニーズや技術動向を知り、変化に対応した技術開発等を進め、自ら提案することが求められています。

また、様々な業種において、IoTやAI等の活用により社会的課題を解決する「超スマート社会」の実現に向けた技術革新が進み、自動車産業においても、データ活用による渋滞等の都市問題解決や移動弱者ゼロ化など豊かな移動による地域社会づくりへの期待が高まっています。

第2回目の本セミナーでは、企業や大学、自治体等の連携により導入が進むモビリティシステムの事例紹介や、国内外でアイデア創出されているモビリティサービスに関するビジネスモデルの事例とそのポイントの解説を通じて、CASE-MaaSで広がる新たなビジネスモデルやその可能性を展望します。ご関心のある方は是非ご参加ください。

※ CASE:「Connectivity (つながる)」「Autonomous (自動運転)」「Shared&Service (利活用)」「Electric (電動化)」の英語の頭文字で、自動車産業の変革を象徴する新たなキーワード。
MaaS: 個人の移動を最適化するために様々な移動手段を活用し、利用者の利便性を高める各種サービス。Mobility as a Service の略。

主催：経済産業省中部経済産業局

問合せ先：セミナー事務局 (株)ダン計画研究所内 tel 06-6944-1173)

CASE-MaaSセミナー

— 未来のモビリティ産業・社会を考える —

【第2回 CASE-MaaSで広がる新たなビジネスモデルとその可能性】

とき 令和2年10月27日(火)

14:00 ~ 16:30

※PCなどからオンラインでご参加ください。(Microsoft Teams使用)
※中部地域(愛知・岐阜・三重・富山・石川)所在企業を優先し、申込状況により調整させていただく場合があります。



使用ツール：Microsoft Teams

- ・ PCでの参加を推奨します。
- ・ 専用アプリか、Webブラウザを使って利用します。
 - ※専用アプリの場合： App Store や Google Play から Microsoft Teams アプリをダウンロードしてください。
 - ※Webブラウザの場合： 推奨ブラウザは以下のとおりです。
 - *Windows OS: Microsoft edge, Google chrome / *Mac OS : Google chrome

【出演者プロフィール】

■ 森川 高行 氏 (名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ社会研究所 教授)

京都大学大学院工学研究科修了後、マサチューセッツ工科大学大学院博士課程修了。京都大学助手、名古屋大学助教授を経て2000年より名古屋大学大学院教授。専門は交通計画、都市計画、消費者行動論、ITS、モビリティサービス、自動運転で、現在、名古屋大学COI「人がつながる“移動”イノベーション拠点」の研究リーダーを務める。

■ 小澤 拓郎 氏 (MONET Technologies株式会社 事業推進部 担当部長)

ソフトバンクにて法人向けICTソリューション提案及びICTパートナービジネスに携わった後、2019年より、トヨタ自動車とソフトバンクが共同出資し設立したモビリティサービスを基盤とした MONET Technologies株式会社に合流。東日本エリアを中心にMONET MaaS事業を推進している。

■ 吉田 誠 氏 (特許庁 審査第四部 インターフェイス(検索・記憶管理) 審査官)

2005年入庁。2009年に審査官へ昇任後、情報検索やデータベース関連の特許審査、コンピュータソフトウェア関連発明の審査基準の整備、ビジネス関連や金融・決済分野の特許審査等に携わる。現在、コンピュータソフトウェア関連発明の審査に関する情報収集・発信、機械翻訳の特許出願技術動向調査を担当している。

お申し込み方法 (締切 10月23日(金)まで)

下記のホームページアドレスもしくはQRコードより申込フォームへ進み、必要事項を記入してください。
(参加者名、所属・役職、事業所名、住所、E-Mail、連絡先TEL など)

<https://www.dan-dan.com/case-maas2020-2/>



↑ ホームページ ↑

問合先 セミナー事務局 (株式会社ダン計画研究所内) TEL 06-6944-1173 E-Mail case-maas2020@dan-dan.com

※ご記入いただいた個人情報は、本セミナーに関する運営・情報提供、主催者のセミナー等に関する情報提供についてのみ使用いたします。